

吹連いばらき

発行所 茨城県取手市山王1000
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校内
一般社団法人 茨城県吹奏楽連盟
電話 0297-63-5120
http://www.iba-sui.jp
発行人 代表 川名孝夫
印刷所 三印 刊山社



「第44回全日本アンサンブルコンテスト」

メディキット県民文化センター
(宮崎県立芸術劇場)

(常総学院高等学校・金管八重奏)



(日立市立多賀中学校・フルート三重奏)

写真提供 朝日新聞社

茨城県吹連が創立60周年を迎えた令和2年、過去をよりよく理解し、未来に全く新しいまなざしを向けるために様々な記念事業が動き出したところ、新型コロナウイルス感染症により自由を奪われ、人と人との接し方が一変した1年となりました。11月から12月にかけてのアンサンブルコンテストは無観客で開催することができましたが、連盟の中核の事業であるコンクール・マーチングフェスティバルをはじめ他の様々な事業が年間を通して失われました。私たちの活動は、大勢が同じ空間に集い、同じ音に身をゆだねる音楽という営みです。そして共感したり、感動したり、意見を出し合うことで活動が支えられてきました。しかし、今回立ち止まつたことで気付かされたことは、吹奏楽に触れ続けてきた日々、そして仲間と安心して奏でることができた日常の輝きです。いまだ警戒を緩めることはできませんでしたが、令和3年1月15日に茨城県から「管楽器の演奏、合唱等を一時的に停止」という部活動に関する通知が出され、各団

が一変した1年となりました。11月から12月にかけてのアンサンブルコンテストは無観客で開催することができましたが、連盟の中核の事業であるコンクール・マーチングフェスティバルをはじめ他の様々な事業が年間を通して失われました。私たちの活動は、大勢が同じ空間に集い、同じ音に身をゆだねる音楽という営みです。そして共感したり、感動したり、意見を出し合うことで活動が支えられてきました。しかし、今回立ち止まつたことで気付かされたことは、吹奏楽に触れ続けてきた日々、そして仲間と安心して奏でることができた日常の輝きです。いまだ警戒を緩めることはできませんでしたが、令和3年1月15日に茨城県から「管楽器の演奏、合唱等を一時的に停止」という部活動に関する通知が出され、各団

が一変した1年となりました。11月から12月にかけてのアンサンブルコンテストは無観客で開催することができましたが、連盟の中核の事業であるコンクール・マーチングフェスティバルをはじめ他の様々な事業が年間を通して失われました。私たちの活動は、大勢が同じ空間に集い、同じ音に身をゆだねる音楽という営みです。そして共感したり、感動したり、意見を出し合うことで活動が支えられてきました。しかし、今回立ち止まつたことで気付かされたことは、吹奏楽に触れ続けてきた日々、そして仲間と安心して奏でることができた日常の輝きです。いまだ警戒を緩めることはできませんでしたが、令和3年1月15日に茨城県から「管楽器の演奏、合唱等を一時的に停止」という部活動に関する通知が出され、各団



新たなスタート

理事長 川名孝夫

体は吹奏楽活動に大きな制約を受けました。「したいことを諦めず、すべきことは焦らずに、できることは比べずに」の思いで活動を継続してほしいと願っています。

さて、令和3年度より「一般

社団法人 茨城県吹奏楽連盟」として新たなスタートを切りますが、連盟の在り方、果たすべき役割等について論議していく中で、連盟に関わってこられた先人の吹奏楽や連盟に対する思いと情熱は、受け継いでいかなければなりません。そして昨年から積み残された様々な問題は年をまたいで引き継がれることになりますが、一つひとつ改善の道を切り開いていかなければなりません。いま大きな転換点であることは確かです。連盟規約にある「吹奏楽の普及と発展」という目的を見つめ直し、その具現化に少しでもお役に立てるよう努めてまいります。現在400を超える加盟団体を維持していることから、様々な意見を許容し新たなステップに向けて、引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。

一年をふり返つて

地域や学校の特色を生かして

潮来市立牛堀中学校

額賀 陽子

全国的に新型コロナウイルスに関する影響が深刻化する中、予想もしなかった状況下での音楽活動に不安が広がりました。戸惑う日々が続いています。

潮来市内の4つの中学校は、いずれも小規模校です。本市では「生徒たちの音楽活動を止めたくない」という思いのもと、多くの先生方にご協力をいただきながら、小規模校小編成という各学校の特色を生かした工夫や対策を考え、吹奏楽部の運営に努めています。その取り組みの一つに、市内中学校合同アンサンブルコンサートの開催があります。11月8日、行方市文化会館にてコンサートを開催し、学校関係者と吹奏楽部保護者の入場を認めました。また、アンサンブル曲のみの発表とし、短時間での開催を目指しました。開催には、生徒や保護者、学校関係者から健康確認シートを提出してもらったり、入場口に検温ブースを設けたりする等、会場

w i t hコロナの中ですが、地域や学校の特色を生かしながら、今私たちにできることを見つけ、これからも生徒と音楽を

楽しむことを見ています。

全体にアンサンブルコンテストと同様の感染予防対策への協力を呼びかけ、安全安心な開催に努めました。また、アンサンブルコンテスト県東地区大会と同じ会場を使用することで、感染予防対策を考慮した生徒の導線やコンテスト当日に係員が配慮すべき点が見え、コンサート開催の大きな成果の一つとなりました。

市内では毎年、合同練習や合同演奏を通して、部活動への意欲や技術の向上を図るための機会を設けています。今回はコロナ禍での合同コンサートでしたので、開催前は不安な声も届きましたが、コンサートを終えてみると、「生徒の頑張る姿に感動した」という保護者の声や、「久しぶりにステージで演奏ができる嬉しかった」という生徒の声を聞くことができました。また、小規模校の参加により、コンサートの開催が実現できたのではないかという意見もありました。

春入学式は前日まで演奏かCDが決定が揺れましたが、無事演奏許可が出ました。その後次々と運動部の公式大会が中止になり、不安を抱えながらも、少しでも希望をつなげたく、リモートで練習会を続けました。夏、3年生引退の日に限定公開でコンサートを開催しました。憧れのホールから体育館へとなりましたが、会場は涙で溢れました。新体制をスタートさせた8月には吹奏楽コンテストに挑戦でき、それがどれ程幸せなことか心に刻まれました。秋冬シーズンには、昼休みに新た

繋いでいきたいと思います。

かけがえのない日々

県立土浦湖北高等学校

小沢 貴子

今年度の本校吹奏楽部の活動は、前年のコンクールの結果を受けて掲げた目標のもと、5月に第1回目となる定期演奏会を開催し飛躍の年となるはずでした。ところが人類史に深い傷跡を残すであろう見えないウイルスにより状況は一変しました。

「環境のせいにしない。」以前からそう言つて歩んできた私たちは、できるることは何かを考え、それを探す日々となりました。春入学式は前日まで演奏かCDが決定が揺れましたが、無事演奏許可が出ました。その後次々と運動部の公式大会が中止になりましたが、合同演奏会が開催できる時期もあり、部長として雰囲気を盛り上げるのに悩みました。そんな時、顧問の先生から、「合同演奏会が開催できるかもしれないよ、できたら参加しよう。」と話があり、私は「演奏できる機会があるなら参加したいです!」と言いました。参加が決まってからは部員のモチベーションも上がり、前向きな気持ちで練習に取り組むようになりました。この演奏会に、私は初めて参加しました。演奏できることはすごく楽しみでしたが、練習時間が少なかったので少し不安もありました。とにかく自分たちの力を出し感謝を伝えたいという気持ちだけでし

取り組みとして、月に一度屋外でのミニコンサートを始めました。大小は問わず、一つひとつの活動に対し安全が確保できるか、練習を制限すべきか否か、判断の難しい局面が続きました。そのような時に吹奏楽連盟の活動で出逢った方々にたくさん支えて頂きました。心より感謝申し上げます。

本校3年生のひとりが、引退後に寄せた文章です。『私たちが本気で頑張ったかった、みんなで立ちたかた舞台を奪われ、どこに想いをぶつければ良いか、何を目標に頑張れば良いか分からなくなり、ただひたすらに涙を流した日々が、先生方や家族、仲間のおかげで、私の心に一生残り、いつか思い出して胸が一杯になってしまふような日々に変えられた事、感謝してもしきれません。』

令和2年逆境を感謝に変えた強く美しい心と、叶えられなかつた想いを忘れる事はできません。かけがえのない時間を吹奏楽によつて結ばれた私たちが、灯を消さない事で、未来を輝かせることに繋がつていくと確信し、今後も部員とともに音楽を奏で続けたいです。

演奏会に参加できたことに感謝をこめて

常総市立石下西中学校

3年 石塚 陽菜

私はまず、このコロナ禍の中で演奏ができる場を作つてくださいました。先生方にとって感謝しています。ありがとうございます。

令和2年逆境を感謝に変えた強く美しい心と、叶えられなかつた想いを忘れる事はできません。かけがえのない時間を持つて結ばれた私たちが、灯を消さない事で、未来を輝かせることに繋がつていくと確信し、今後も部員とともに音楽を奏で続けたいです。

た。今のメンバーで演奏できる最初で最後のステージなので、この時間を楽しもうと思いました。演奏会当日はコンクールとはまた違った緊張感と、それ以上の何か心に響くものがありました。中学校最後の大きなステージで演奏し、演奏会に参加できたことは忘れられない思い出です。

県西地区中学校吹奏楽合同演奏会は今年で20回目「吹奏楽部員が交流を図る場を作つてください」とから始ましたと先生から聞きました。20回の歴史があることに驚き、今回は記念すべき20回が語り継がれる回になると思いました。私たち吹奏楽部員にとって、演奏会で他校との交流を図ることができるはとても楽しみです。今年は感染予防の対策を考えた中での開催ということで、例年と違つて、恒例の参加者全員での合同演奏や3年生だけの合同演奏はありませんでした。参加者と保護者は入れ替え制のため、参加校すべての演奏を聴くことはできませんでした。でも私は参加できてよかったです。コロナウイルス感染の拡大が終息しないまま、中学校卒業が間近になりました。吹奏楽を通しての活動で得た経験を今後活かしていきたいと思います。

「ピンチはチャンス」
令和2年に日立一高並びに附属中学校から日立北高へ異動となり、吹奏楽部の顧問を引き続ぎ担当させていただいておりました。今年度のアンサンブルコンテストでは、出場した2チームがどちらも県大会に進むことができました。この結果を今後の飛躍に繋げていきたいと考えております。

異動2日目に吹奏楽部の生徒たちと顔合わせをし、合奏を聞かせてもらいました。その音から「この子たちならこの自由曲だ」と思わせてくれるほどに生徒たちから可能性を感じ、日立北高での指導がとても楽しみになつたことを今でも覚えていました。

おそらく、コロナ禍でなければこのような演奏会を自ら企画することはなかつたでしょう。おそらく、コロナ禍でなければこのような演奏会を自ら企画することはなかつたでしょう。今年度は5つのアンサンブル間に隔の確保など考えうる対策を講じて行いました。

おそらく、コロナ禍でなければこのような演奏会を自ら企画することはなかつたでしょう。今年度は5つのアンサンブル間に取り組み、校内審査を経て、フルート三重奏、サクソフォーン三重奏、打楽器三重奏が県大会に出場しました。出場した部員は千波小代表としての自覚をもつて練習しステージに上がりました。これらの中止となり、例年通りに部員全員でアンサンブルに取り組みました。同じパートの部員たちは互いに教え合いながら譜読みをし、譜読みが進むと、他のパートの友達と旋律を重ねていくという練習を繰り返します。「密」を避けるために、いくつもの教室に分かれて練習しているため、顧問が練習にて取り組んでいきたいと思います。

そのような状況下で、私が皆様にご紹介できるような取り組みは「自主的な演奏会」を企画したことだと思います。8月8

「コロナ禍における特色ある活動について」

県立日立北高等学校

助川 敬一

音を合わせる楽しさ

水戸市立千波小学校

野口 博江

日には日立一高並びに附属中学校と3年生の区切りとなる合同演奏会を、12月26日には日立二高・日立商高・滑川中・坂本中と中高の連携を図る目的で合同クリスマスコンサートを実施いたしました。このコロナ禍においてリモート合奏が流行りましたが、生徒たちの頑張りを保護者や互いに直に見て・聴いてもらえるライブという形にこだわり、ホールでの演奏会を企画・運営しました。(私自身ICTに強くないという理由もあり)もちろん、感染予防のためホールの担当の方と打ち合わせながら、保護者限定の入場制限・健康チェックシートの提出・座席間隔の確保など考えうる対策を講じて行いました。

おそらく、コロナ禍でなければこのような演奏会を自ら企画することはなかつたでしょう。今年度は5つのアンサンブル間に取り組み、校内審査を経て、フルート三重奏、サクソフォーン三重奏、打楽器三重奏が県大会に出場しました。出場した部員は千波小代表としての自覚をもつて練習しステージに上がり、出場できなかつた部員は来年こそはと思って練習に励みました。何より、アンサンブルは、音を合わせることの楽しさを味わわせてくれるものです。これからも、部活動の大切な柱として取り組んでいきたいと思います。

とができました。
アンサンブルですので、取り組んだ全員がアンサンブルのメンバーになるわけではありません。しかし、自分ひとりで1つのパートを責任をもつて担当する経験は、自分の音をじっくり聴いたり、自分で表現を考えたりするようになるなど、吹奏楽音楽室は、ガランとし、5月まで楽器の音が聞こえることはありませんでした。少しづつ練習ができるようになつても「密」を避けるために、全体で音を合わせることはできず、パート練習や部分的な練習を行う日々が続きました。

夏のコンクールが中止となり、モチベーションが下がりがちな部員たちに音を合わせることや音楽を作り上げていく楽しさを思い出させてくれたのがアンサンブルコンテストです。

本校では、4年生から5年生の部員全員でアンサンブルに取り組みました。同じパートの部員たちは互いに教え合いながら譜読みをし、譜読みが進むと、他のパートの友達と旋律を重ねていくという練習を繰り返します。「密」を避けるために、いくつもの教室に分かれて練習しているため、顧問が練習にて取り組んでいきたいと思います。

そのような状況下で、私が皆様にご紹介できるような取り組みは「自主的な演奏会」を企画したことだと思います。8月8



事業部・部会・各地区の活動

アンサンブルコンテスト事業部

山田 賢哉

「コンクールがなかった今年度、是非ともステージで演奏していただきたい」という一心で運営してきました。コロナ禍の折、どれだけの参加団体があるのか不安もありましたが、地区大会、県大会とともに多くの団体、グループの皆様に参加していただけたこと、感謝申し上げます。

開催に当たり、感染症対策を熟考し、県大会では、無観客、出演順、演奏動画配信、Web上での事前説明会実施等、皆様のご協力のもと、例年と異なった運営をさせていただきました。実行委員長として、そのステージでの素晴らしい演奏が続いた3日間を終えられたこと、感無量です。一方で、地区大会、県大会とともに、急遽不参加の団体が複数ありました。事業部として十分な対応ができたのか、未だに心が痛みます。また、本県主管の東関東大会は、緊急事態宣言中の開催で、無観客での演奏審査から映像での審査へと変更になりました。

今後の開催に向け、映像審査の在り方、参加不可能団体、グループへの対応など、課題が残りました。
今後、どのような状態でも、より多くの皆様に参加していただけるステージを準備できるよう、今後も検討を重ねていただきたいと思います。

財務部

内藤 良

令和2年度の財務状況のご報告とともに、今後の財務運営に関してお知らせいたします。

今年度は主要な事業のうち、アンサンブルコンテストのみを無観客にて開催することができました。このため、財務状況は各事業における入場料収入が大幅に減少し、県、地区ともに非常に厳しい状況となっています。これまでに、急いで対応ができたのか、未だに心が痛みます。また、本県主管の東関東大会は、緊急事態宣言中の開催で、無観客での演奏審査から映像での審査へと変更になりました。

審査部

武藤 隆行

令和2年度の吹奏楽コンクールが、新型コロナウイルス対策のために中止となりました。令和3年度の吹奏楽コンクールの審査員は、令和2年度に依頼をしておりました審査員の方々に審査をお願いする予定であります。

また、コンクールが実施されませんでしたので、各地区を運営する予算も自ずと緊縮を余儀なくされました。アンサンブルコンテストの地区大会では、客席をこまめに入れ

これまで事業の入場料収入を見込んだ形で吹連の運営を行えるよう、皆様の会費や参加負担金を設定しております。今後も感染症対策下の事業運営が想定されるため、事業や運営に必要となる経費を会費や参加負担金にてある程度賄えるように金額を改定させていただく予定です。

一般社団法人となる節目の年に際し、各地区とともに県吹連として、なお一層効果的に運用してまいります。

皆様には引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度の吹奏楽コンクールが、新型コロナウイルス対策のために中止となりました。このため、演奏する機会が大変少ない現状ですが、2月に予定している県東地区吹奏楽祭も実施することができず、非常に残念な運営に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

まだに加盟団体が人前で演奏する機会が大変少ない現状ですが、2月に予定している県東地区吹奏楽祭も実施することができず、非常に残念な運営に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

県東地区

高橋 哲也

2020年の2月24日に日の出中学校で実施した「県東地区合同バンド練習会」が、この年の前半に県東地区として活動した最後の行事となりました。その1週間程後には、全国一斉に休校となり、各校の部活動も行うことができな

くなりました。3月の地区総会で、何とか実施方法を模索し、書面議決で実施した地区総会の時点では開催する方向であつた吹奏楽コンクールも中止となり、もちろんプレコンも初心者講習会も中止となりました。

地区の事業で唯一、実施できたのは、11月のアンサンブルコンテストでした。会場の変更や無観客での開催、参加費を負担金の臨時値上げなど、出演団体には大変ご迷惑をおかけしながらの開催でした。

まだに加盟団体が人前で演奏する機会が大変少ない現状ですが、2月に予定している県東地区吹奏楽祭も実施することができず、非常に残念な運営に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

令和3年度にどの程度、通常の活動状況に戻すことができるかは不透明ですが、工夫をしながら加盟団体のためになれるような運営を感じています。

令和3年度にどの程度、通常の活動状況に戻すことができるかは不透明ですが、工夫をしながら加盟団体のためになれるような運営をこれがけていきたいと思いま



県南地区

鄉惠子

今年度予定された日程で実施できた事業は、アンサンブルコンテストと指導者講習会の2つでした。

アンサンブルコンテストは無観客での実施、学校ごとまとめての演奏、補助員なしでの運営など、感染対策を優先しつつも演奏者のみなさんが練習の成果を發揮できる大会を目指し開催致しました。

た、指揮者がどのように音楽をイメージするかによって、音は大きく変化することも改めて実感しました。

いつも各事業が終わるまで不安でいっぱいなのですが、結局はそこに集まるみなさんの音楽に対するエネルギーによつて事業が実施され、終わったときには充実感と次への意欲が生まれます。ありがとうございました。次年度もよろしくお願ひします。

県西地図

稻毛田

英史先生をお招きし、「指揮者は何ができるか」をテーマに指揮法・合奏法・スコアリー・デイニング等、受講者参加型で実践しながら学ぶ機会となりました。1回目は取手市民会館にて「口マネスク」「栄光

手交響楽団のみなさんとともに学び、2回目は取手松陽高校を会場に、引き続き「ロマネスク」を教材として、ピアノやバスケットボールを用いた講座となりました。特に2回の講座を通して部活動で管楽器の演奏が制限されていく中で、カデンツを意識した音楽の感じ方を生徒とともに学ぶ方法として、すぐに実践できるものとなりました。ま

受けました。一堂に会して、審議を行い情報交換する貴重な場が無くなってしまいました。夏にかけて予定していた事業も軒並み中止となりました。初心者講習会は、毎年中学1年生を対象に、基本的奏法から楽器の手入れなどを、楽器別に講師を招いて行っていたものなので、地区吹奏楽の技術向上に対しても大きな影響を受けてしまいました。吹奏楽

県北地区

加藤
勝弘

加藤 勝弘

クールを開催することができませんでした。子どもたちにとって、目標としていた大会がなくなってしまうことは

大変辛いことでした。

中央地区

鹽澤
恭平

今年度は、新型コロナウイルスの流行により吹奏楽コンクールや多くの予定していた

A simple illustration of a conga drum, showing its cylindrical shape and the four tuning lugs on its front head.

コンクールの中止についても、出場する団体間や奏者同士で切磋琢磨をし合える場が失われてしまい、大変心を痛めました。

いたしました。子どもたちの
精一杯演奏をしている姿は、
とても輝かしいものでした。
各市教育委員会、会場担当の
方々、学校関係者、保護者の
皆様には、多大なるご支援を
頂き、大変感謝しております。

行事が中止となつてしまいました。アンサンブルコンテストでは、会員の皆様には感染症対策をはじめたくさんのご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

さて、私たちはコロナ禍において、どのようにすればアンサンブルコンテストを安全に実施できるか入念に話し合いを重ねてきました。当日は無観客開催という初めての試みでしたが、無事に運営することができました。

来年度も、各事業が通常開催できるか全くわからない状況です。そんな中でも、子どもたちが音楽を演奏できる場所ができる限りつくっていきたく思います。

令和3年度におきまして
も、茨城県における吹奏楽普及
及発展のために、地区を挙げ
て取り組んでまいります。会
員の皆様には、ご不便をかけ
ることがあるかもしれないで
すが、これからもご協力よろ
しくお願ひいたします。

広げよう 音と心のハーモニー

2020年3月、新型コロナウイルス感染症対策本部から全国の小中学校・高校・特別支援学校に臨時休業が要請されました。これまでに無いこの状況は、社会に大きな影響を与えたのはもちろん、音楽を取り組むすべて児童・生徒や指導者、更には演奏家にまで多大な影響をもたらしました。

そのような状況下において、それぞれ音楽を忘れてはいけないという思いの中、リモートによる合奏や、感染予防に万全を尽くしながらのライブ演奏に取り組んできました。それらの取り組みは、私たちに音楽の素晴らしさや感動をあらためて感じさせてくれました。

さて、コロナ禍の練習についてはすでに様々な工夫を取り入れ活動している団体も多く見られます。

我々指導者は、まだまだ収束の兆しが見えない中で今後もきちんとした感染予防を念頭に置いて指導していくことが求められます。そのためには、確かな情報や検証

データを今一度見直すことも大切かと思います。
そこで、(株)ヤマハミュージックジャパンから、いくつかの検証、実験データ等の提示をいただきましたのでここで紹介いたします。

データを今一度見直すことでも大切かと思います。



管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験 (コロナ対策まとめ)

この資料には、活動の場面に応じた対策が掲載されています。それぞれの団体では練習場の環境が異なっていたり、練習のルーティンが違ったりしますので、それぞれの団体でこれを元に話し合いをするなど自分たちの活動に合った感染対策を考えることが必要と思います。また、管楽器だけではなく、共有で使っている打楽器のマレット類、チューナーやメトロノームについても触れられていますので参考にしてください。この資料にも書かれているように感染対策を行っても「感染リスクを完全にゼロにする」ことはできませんが、意識をもつことで不要な感染のリスクを少しでも防ぐことができます。



～スクールバンドを中心とした吹奏楽活動における感染対策～ Ver.2更新 (#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト)



管打楽器を安心して楽しむために (お手入れQ&A)



めざせ！お手入れの達人 (お手入れ冊子PDF版)



新しい吹奏楽部様式のスヌメ MARCH (吹奏楽部向けコロナ対策 ポスター)



こちらの資料はPDFファイルをダウンロードできます。実際に子どもたちに持たせることで、日頃の楽器の手入れの意識付けるになる資料です。

大会の記録

※下線は代表団体

- | | | | |
|------------------|----|-----------------------|------|
| ▶第60回茨城県吹奏楽コンクール | 中止 | ▶第57回茨城県マーチングフェスティバル | 中止 |
| ▶第26回東関東吹奏楽コンクール | 中止 | ▶第19回東関東小学生バンドフェスティバル | } 中止 |
| ▶第20回東日本学校吹奏楽大会 | 中止 | 第26回東関東マーチングコンテスト | |
| ▶第68回全日本吹奏楽コンクール | 中止 | ▶第39回全日本小学生バンドフェスティバル | } 中止 |
| | | 第33回全日本マーチングコンテスト | |

▶第55回茨城県アンサンブルコンテスト

地区大会	(県東)	11月14日, 15日	行方市文化会館, 神栖市矢田部公民館
	(県南)	11月27日, 28日, 29日	小美玉市生涯学習センター
	(県北)	11月14日	常陸太田市民交流センター
県大会	(高・大)	12月11日	牛久市中央生涯学習センター
	(中)	12月12日	牛久市中央生涯学習センター

金賞	銀賞	銅賞	コロナの影響による欠場
朝日賞 千波(Fl三) <u>前渡(木三), 笠原(打四), 笠原(金八), 常磐(金六), 千波(Fl三), 三の丸(Cl三), 前渡(打三), 外野(金八), 三の丸(木四), 酒門(打四)</u>	前渡(金四), 笠原(金五), 常磐(木四), 外野(金五), 外野(打五), 千波(Sax三), 千波(打三), 佐野(打三), 新莊(金四), 新莊(金六), 三の丸(金四), 酒門B(金四), 酒門C(金四)	阿見(金八), 阿見(打三), 佐野(金五), 佐野(管七), 日の出(木四), 水海道(金六), 水海道(金八) 努力賞 日の出(金六)	村松(金三・Cl三・Sax三), 白方(打三・金五・金八), 大洗(金五・金八・打四)
《中学校部門》 朝日賞 多賀(Fl三) <u>古河一(木八), 豊浦(打三), 茨城(金八), 多賀(管八), 多賀(Fl三), 大島(金八), 下館南(Cl四), 下館南(Sax四), 取手聖徳(管五), 金砂郷(Sax三), 茨城(打五), 水戸一(Fl三), 古河中等(打六), 並木中等(金八), 大島(木八), 泉丘(金八), 千波(打四), 泉丘(木八)</u>	田彦(Cl四), 水戸二(金七), 茨城キリスト(Fl三), 水戸二(Cl五), 水戸二(Sax三), 藤代南(金四), 取手一(木八), 友部(金五), 取手一(金八), 古河二(金八), 取手一(打四), 三和北(Sax四), 茨城(Cl四), 境一(管八), 大野(打三), 茗溪(Sax三), 並木中等(Sax三), 千代川(木三), 水戸一(Sax四), 勝田三(木七), 御所ヶ丘(Sax五), 北浦(打三), 千波(金八), 江戸川学園取手(打三), 土浦三(打三)	取手二(Sax三), 鹿島(打四), 古河二(木五), 大洋(木六), 水海道西(木三), 下妻(木八), 神栖二(Sax三), 大野(木四), 龍・城ノ内(木八), 茗溪(Cl三), 波崎四(Sax三), 御所ヶ丘(Hr四), 北浦(金四), 土浦三(木八), 明野(Cl四)	東海(管七)
《高等学校部門》 朝日賞 常総学院(金八) <u>取手聖徳(木八), 取手聖徳(管八), 大成女子(Cl四), 並木中等(Cl四), 水戸女子(Cl四), 常総学院(Sax四), 水戸女子(金八), 常総学院(金八), 取手聖徳(打三), 大成女子(金八), 大成女子(木八), 水戸一(Cl四), 境一(打六), 明秀日立(木八), 茨城(Cl四), 水戸女子(打六)</u>	下妻一(Sax三), 境(木四), 境(Cl四), 竜ヶ崎一(Sax四), 竜ヶ崎一(金六), 水戸一(Sax四), 茨城(打四), 藤代(木三), 霞ヶ浦(木八), 明秀日立(金八), 古河中等(木八), 牛久栄進(Sax四), 牛久栄進(打四), 水戸桜ノ牧(打四), 水戸桜ノ牧(Sax四), 並木中等(木四), 鹿島(木三), 日立北(Cl四), 水海道一(Sax六)	日立二(Sax四), 茗溪(Hr四), 日立二(金八), 土浦日大(管八), 古河一(木六), 鉢田一(木七), 牛久栄進(木八), 鉢田一(金八), 日立北(金八), 水海道一(金八), 並木中等(Sax四), 八千代(Sax五), 土浦一(金八)	
《大学部門》 朝日賞 茨城(金八) <u>茨城女子(Tb三), 茨城(金八)</u>			
《職場・一般の部》 朝日賞 "Legend OF Dragon"(金四) <u>"Legend OF Dragon"(金四), 古河シティ(Cl四), 古河シティ(打六), ひたちなか交響(Cl三), 大成WE「暁」(Fl六), 聖徳WE(木八), 聖徳WE(金八), 水戸市民(木四)</u>	取手交響(金四), 水戸一高OB(Tb三), 茨城パルナツッソス(管七), 大成WE(管八)	阿見吹(木三), サカイWS(金三), ひたちなか交響(Hr三), 水戸市民(Hr四), 聖徳WE(金四)	

▶第26回東関東アンサンブルコンテスト 令和3年1月23日, 24日 牛久市中央生涯学習センター

《小学生部門》	三の丸(Cl三), 笠原(金八), 千波(Fl三)	常磐(金六), 笠原(打四), 前渡(木三)	
《中学校部門》	多賀(Fl三), 多賀(管八)	下館南(Sax四), 豊浦(打三), 大島(金八), 下館南(Cl四)	古河一(木八), 茨城(金八)
《高等学校部門》	常総学院(金八), 常総学院(Sax四)	大成女子(Cl四), 水戸女子(Cl四), 取手聖徳(管八), 水戸女子(金八)	並木中等(Cl四), 取手聖徳(木八)
《大学部門》			茨城(金八), 茨城女子(Tb三)
《職場・一般部門》	大成WE「暁」(Fl六), 古河シティ(打六), 聖徳WE(木八)	"Legend OF Dragon"(金四), 古河シティ(Cl四)	聖徳WE(金八), ひたちなか交響(Cl三)

▶第44回全日本アンサンブルコンテスト 令和3年3月20日 メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)

《中学校部門》		多賀(Fl三)	
《高等学校部門》			常総学院(金八)

令和2年度県吹連後援

演奏会の記録

(加盟団体のみ)

月	団体名	演奏会名
4月	県立古河中等義務教育学校	第5回定期演奏会
	県立水海道第一高等学校	第27回定期演奏会
	県立並木中等義務教育学校	第22回定期演奏会
	県立竹園高等学校	第35回定期演奏会
	県立緑岡高等学校	第13回定期演奏会
	県立藤代高等学校	第37回定期演奏会
	藤代ゲネラルシンフォニックオーケストラ	第90回定期演奏会
5月	茨城高等学校・大成女子高等学校	第6回ジョイントコンサート
	ひたちなか交響吹奏楽団	第22回定期演奏会
	大成女子高等学校	第52回定期演奏会
	日立市民吹奏楽団	第37回定期演奏会
	水戸交響吹奏楽団	第23回定期演奏会
6月	古河シティウインドオーケストラ	第23回定期演奏会
	筑波大学	第83回定期演奏会
	あゆなまみあな吹奏楽団	第11回定期演奏会
7月	古河吹奏楽団	第51回定期演奏会
8月	常陸太田市内中学校	第24回合同演奏会
10月	県立伊奈高等学校	第26回定期演奏会
11月	ひたちなか交響吹奏楽団	第23回定期演奏会
	水戸シンフォニックアンサンブル	第34回演奏会
	筑波研究学園都市吹奏楽団	第34回定期演奏会
12月	ひたちなか市民吹奏楽団	第36回定期演奏会
	県立水戸第三高等学校	クリスマスコンサート
	茨城高等学校・中学校	第61回定期演奏会
1月	水戸市民吹奏楽団	第43回定期演奏会
2月	常陸太田市民吹奏楽団	第34回定期演奏会
	常磐大学	第36回定期演奏会
3月	筑波研究学園都市吹奏楽団	午後の演奏会24
	県立那珂高等学校	第26回定期演奏会
	霞ヶ浦高等学校	Spring Concert2021
	県立古河第一高等学校	第8回定期演奏会
	県立境高等学校	第21回定期演奏会
	聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校	第36回定期演奏会
	愛♡Wind Orchestra	第10回定期演奏会
	県立水海道第二高等学校	第21回定期演奏会
	県立牛久栄進高等学校	第29回定期演奏会
	県立土浦湖北高等学校	第1回定期演奏会

後援名義申請のあった演奏会を記載しております。(中止となった演奏会も含みます)

後援名義申請の方法

加盟団体については吹連HP「関係書類」より申請書をダウンロードし、メールにてご提出ください。

和田 萩庭 仁平 斎藤 齊々木 古谷 牧野
 瑞枝 宏子 良治 晴男 孝明 讓一
 (事務局主事) (事務局主事) (事務局主事)
 (中央地区長) (県北地理事務局長) (県南地理事務局長)

編集委員

この危機的状況を何とか打破しようと知恵を絞っているところにスポットを当て、まとめられた結果が今後の参考になると考えています。厳しい環境の中、投稿にご協力くださいました皆様方に感謝申し上げます。

各加盟団体は日々どの様な対策を講じながら活動して来られたのか、今回のコンセプトはそれらの対応・対策を記録にまとめておく必要があると判断して決められました。

広報委員会としては、皆さんにこの危機的状況を何とか打破しようと知恵を絞っているところにスポットを当て、まとめられた結果が今後の参考になると考えています。厳しい環境の中、投稿にご協力くださいました皆様方に感謝申し上げます。

広報委員長 牧野 英一

編集後記

コロナ禍の影響で当茨吹連にとっても大変な1年でした。

緊急事態宣言が出されてコンクール・コンサート・総会・会議にいたるまで中止になり、事業のメインであるコンクールがなくなってしまったことによって、活動そのものが全体に縮小し、内容の変化をせざるを得ない状況が見られました。